



出現！巨大ひまわり



美里に住む佐藤忠三さんの庭で、巨大なひまわりが近所の話題となっています。

佐藤さんは趣味の盆栽の横にひまわりの種を植えたところ、3本がみるみる大きく育ち、花の直径は30cm、高さ3m40cmにもなりました。「異常な暑さで伸びたのかな？」とひまわりを見上げていました。 (8月23日)

防災セミナー



ふれあい倉庫で「防災セミナー」が開催され、町内会のリーダーをはじめ80人が参加しました。

講師に招かれた北海道教育大学札幌校の佐々木貴子教授は「災害そのものは防げなく、行政任せでは命は守りきれないため、互いに支え合う地域の力が必要なのです。防災の視点を持つことは、防災のみならず防犯や福祉、環境など生活に関わる幅広い問題の解決につながります。」と話し、災害を想定した図上演習など普段の取り組みの大切さを訴えていました。 (9月5日)

子ども達の自由研究



小中学生が夏休み期間中に取り組んだ自由研究や工作などを集めた作品展が、ふれあい倉庫多目的ホールで開催されました。

展示された作品は、町内および新篠津村の小中学生の作品のうち完成度の高いものなどあわせて110点あまり。この夏のロンドンオリンピックの選手の活躍を研究したものや、割り箸を組んで制作した東京スカイツリー、溶接して作ったボルトアート、紙粘土の可愛らしい人形など、子ども達の興味の先もうかがい知れました。 (9月12日)

広告

広告

広告

広告

歴史を創った人に思いを馳せて



北海道ゆかりの文芸作品を読み、歴史や文化、生活について語り合おうと、ふれあい倉庫で文芸セミナーが開催されました。

この日のテーマは明治維新の箱館戦争で活躍し、北海道開拓使で麦酒醸造所（現在のサッポロビール）創業に貢献しながらも謎の死を遂げた村橋久成^{ひさなり}の生涯について、北海道学を学ぶ会の幹事長の井上和男氏（写真左）から講演がありました。講演の後、参加者は歴史の中で活躍した人物に未知な人間模様がかったことに想像をめぐらせ、意見交換しあいました。

(9月15日)

おしゃべりサロンが受賞



ボランティア活動で道内の地域社会を支えてきた団体に贈られる「道新ボランティア奨励賞」に弥生さくら館サポート隊（代表 高木馥美^{かよし}さん）が選ばれました。

高齢者をはじめ地域の方が気軽に参加できるサロンを目指して平成15年に開設して以来、サポート隊ボランティア12人が40名の利用者と一緒に昼食を作り、会話をしたりフリーマーケットで活動資金も集めるなど、自立した活動を行ってきました。高木さんは「出歩くことが少ない方に人とふれ合う場を提供し続けたい」と話していました。

(9月18日)



広告

広告

広告

広告